

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立武儀東小学校		
実 施 期 間	平成25年10月26日(土)～11月12日(火)		
実 施 概 要	① 家族参観日「親子サイエンスショップ」、「弁当の日講演会」 ② さつまいも収穫祭 ③ 地域の文化祭に参加 ④ 地域の方による読み聞かせ ⑤ 育てた菊を地域の施設に飾る		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	62人	計 92人
	地域関係者	30人	
実 施 状 況	① 10月26日(土)親子サイエンスショップ、弁当の日講演会 本校は4年前より生活科・理科に重点をおいて学習を進め、また科学的な行事を行っている。そこで、今年度も秋の家族参観日に、PTAの役員の方がアシスタントになって、親子一緒に科学的工作を行う「親子サイエンスショップ」を開催した。保護者と一緒になって5つの科学的工作のショップ(ビーズを使ったペットボトル顕微鏡、文字ブーメラン・くるくるクラゲ、分光シートを使った万華鏡、スライム、牛乳パックを使ったびっくり箱など)のうち本人が希望した2つを体験した。PTAの役員と事前に準備や試作、当日の役割分担を行い、当日アシスタントとして活動していただいた。今年度はエジソンの会の方にサイエンスショーを行っていただき、親子で参加をしながら科学の不思議さ、面白さを味わうことができた。 その後、保護者と児童と一緒に、「弁当の日講演会」を聴いた。講師の方には、生き物を「いただく」ことの意味、弁当の日を通して子ども達の自立を促していく大切さについて話していただいた。 ② 11月8日(金)さつまいも収穫祭 5月に青少年健全育成協議会の方に教えていただきながらサツマイモの苗を全校児童で植え、水やりや草取りなどをして育ててきた。そして、11月8日、青少年健全育成協議会、老人会のみなさんに協力していただき、収穫したさつまいもを焼き芋にして収穫祭を行った。隣接した福祉施設であるウエルマッシュ美谷の方々も招待して、縦割り班で一緒に遊び、そのあとで焼き芋を食べて、交流を深めた。 ③ 11月2日(土)武儀地区文化祭参加 地域の文化祭に5・6年生がステージ参加をし、運動会で踊ったソーラン踊りを、地域の皆さんに披露した。 ④ 11月12日(火)地域の方による読み聞かせ活動 毎月1回第2火曜日に、地域の読み聞かせボランティアの方(6名)が朝の読書の時間を使って、15分ほどで各学級一名ずつによる読み聞かせを行っていただいている。		

	<p>⑤ 11月5日（火）～ 今年度、環境美化委員会で育てた菊を地域のデイサービスセンター（福祉協議会）、武儀事務所、生涯学習センターに飾った。</p>
<p>成果及び課題</p>	<p><親子サイエンスショップ> 本校が力を入れている教科「生活科・理科」について、保護者にも理解をしていただくとともに、興味・関心をよりもっていただくために、この行事を行っている。 保護者の感想の中に、 「親子でいろいろ相談したり、やってみたりする姿が見られました。」 「親子でとても楽しくできている姿がとてもよかったです。家でもとても喜んで作ったもので遊びました。」 「どの子ども達も楽しみにしていたようで、一生懸命に作る姿と親と一緒に作る楽しさであふれていました。」 などがあり、児童が科学の楽しさを感じるとともに、親子で楽しく活動をしたり、家でも一緒に遊んだりすることがこの行事をきっかけにしてできたようである。</p> <p><弁当の日講演会> 保護者の感想の中には、 「“食べる”ということを考えさせられました。当たり前前に食べてきたもの。それは当たり前ではなく、一つ一つに感謝の気持ちを持ち、いただいていることに気付かされました。これからの食事時には、楽しく、美味しくいただき、“ありがとう”という気持ちを忘れないようにしていきたいなあと思いました。親子で大切なお話を聞くことができました。…」というように、食べることの意味について、親子で同じ話が聴けて良かったというものがあった。</p> <p><サツマイモ収穫祭> 福祉施設「ウエルマッシュ美谷」の方々と全校児童が遊びを通して交流を図るとともに、一緒に焼いもを食べた。ウエルマッシュ美谷の方には大変喜んでいただいた。 全校児童は、障がいのある方と一緒に遊ぶために、どのような遊びにすればよいかを考えた。また、相手の思いに立つことの大切さを考えながら、交流の計画を立てることができた。実際に、児童の接し方にもやさしさがあふれ、相手を思いやる心が育ちつつあると感じた。 焼いもづくりを手伝っていただいた青少年健全育成協議会、老人会の方に感謝の気持ちを伝えることもできた。</p> <p><武儀地区文化祭への参加> 武儀地区文化祭では、5・6年生の「ソーラン踊り」を披露することで、地域の方に児童の活動を実際に見てもらい、喜んでいただくことができた。</p> <p><地域の方による読み聞かせ> 月1回の地域の方による読み聞かせが定着している。児童も大変楽しみにしており、地域の方もその時期に合った題材の本を選んでくださるなど工夫を凝らしてみえる。武儀地域には武儀のむかし話がいくつも伝わっており、それを読み聞かせしてもらう機会も設けている。</p> <p><デイサービスセンター等への菊飾り> 今年度は、環境美化委員会で菊を育てている。地域の方が大勢関わってみえることもあり、感謝の気持ちを込め育てた菊を地域の方がよく行かれる場所（武儀事務所、デイサービスセンター、生涯学習センター）に飾っていただいている。武儀事務所、デイサービスセンター、生涯学習センターの方にも喜んでいただいている。</p>